郷の集い

発行
新郷校愛護会文芸部
編集責任者
高戸　薫
印刷所
久野印刷所

子どもを交通事故から守ろう

最近は交通量が日を追つて激しくなつてきた。交通事故も増加している。

私達の町からも数多い死傷者が出ていることはいうまでもない。

これが交通戦争であろうが。

老若男女、毎日危険な日を送つて、今日も無事だつたと一夜の食事が楽しい。

私も今日までに車の運転をし冷汗の出るような思いをしたことが何度かありますが、大事にはならなかつた。

歩行者の方も運転者の方も十二分に交通法規を守りましょう。とくに、道路の横断に注意しましょう。

歩行者も運転者も法規を守つたら、交通事故も少くなると思います。みんな事故防止に協力し、明るい家庭をつくり明日への仕事にはげみましょう。

（M生）

一九六六年もおしせまつた今日此の頃、夕食後のテレビ、新聞等を見る事が楽しく又昭和のスピード時代におくれまいとする私達でなければならないでしょうか。

官前生

明るいはずの日本も三面記事は全く暗い材料ばかりである。特に交通事故の多いのには驚く限りである。

今日我が村の者が、我が子が、事故の被害者になつたらと思うと全く背筋の寒くなる思いがする。特に我が本校は地理的に条件が悪い。幸いまだ一度も此の事故にあつた者はいないと聞いている。

今日の農村生活状態から全く先生に申し訳ない位、子供を見守る時間的余裕がない。事故になつてからではもう取返しがつかない。学問と共に交通道徳の話し合いも親の責任として、テレビを見ながら新聞を読み合いながら、良く話し合い実行させるのも、せめて先生の万分の一の御恩返しにはならないでしょうか。

官前生

「年末年始の青少年を守る運動」に協力しよう

十二月十五日から一月十五日までの一ケ月間、青少年の非行化防止を目標に、「年末年始の青少年を守る運動」が展開される。

この期間は、クリスマス、正月など楽しい行事が多く休みが続くため、青少年にとつて心がゆるみ、非行事件が発生しやすくなるので家庭、学校、地域社会が一体となり、明るく規律ある生活を営み、青少年の健全育成と非行の防止にあたることを目的としているのです。

(一)明るい家庭づくり

つとめて一家団楽の機会を多く持ち、家庭が何でも話し合い理解を深め、また楽しいレクリエーションを行なうようにしよう。

(二)家庭、学校、職場の連けい強化

家庭、学校、職場において連けいを密にし、特に青少年が金銭の乱費、深夜外出、有害興行の観覧や危険な遊びをしないように気をつけよう。

(三)健全な余暇利用

冬季はとかく屋内にひきこもりがちとなり、健康上好ましくないので、青少年に健全なスポーツ、レクリエーションを奨励するとともに、余暇の利用についてじゅうぶんな指導にあたりましょう。

(四)地域補導体制の確立

青少年の非行をなくするため、関係機関および地域住民が一体となり、地域補導体制の強化につとめましょう。

(五)街頭補導の強化

青少年の集り場のうろつき、金銭乱費、飲酒、喫煙、不健全な遊びなど、よくない行為が多くなるので関係機関が力を合わせ、街頭補導を実施し、青少年の非行の早期発見に協力しよう。

(六)非行青少年の適切な処置

青少年の非行を発見した場合は、すぐに警察、学校補導、青少年愛護センターなど各関係機関に連絡、相談して適切な処置をとりましょう。

(七)青少年の福祉を害する成人犯罪の防止

未成年者に酒、たばこを販売し、また飲ませないようにするほか、青少年の福祉を害する不法行為が発生しないよう注意し防止にあたりましょう。

(八)青少年の事故の防止

冬季は事故の起りやすい時期でもあるので青少年自身が自分の身体を大切にするような心構えを植えつけ、特に交通事故をはじめ、スキーなどによる事故の防止につとめよう。

このように、青少年の健全育成非行防止はみんなが力を合わせ暖かく見守り、年末年始を明るく楽しく過すことができる様に協力しよう。

（T生）

"がんばれ　孝次郎君"

がんばれ、孝次郎君君は今病気と戦つているのだよ君の勇気ある戦は、必ず病気に打勝つて、友だちがまつている学校へ舞戻つて帰えられるよ。あの夏休みに君たちを楽しませてくれたあぶら"せみ"を見たまえ永い間土の中で、一人で淋しくがんばりぬき、夏になると、かたい土を一人で、ほりわけ木にのぼつて、かどかぬ高い空に、木に舞上るではないか。

君もぼくは必ず良くなるのだと、信んじて病気に打勝ちたまえ、私もそうであつた。タクシーと交通故をおこし、足の骨を折つたのだよ、そうして骨の折れ方がたいへんひどいのでお医者さんがなおらないと云つたほしいと願つている親兄姉までも、あきらめた骨折を私は一度もなおらないと思つた事はなかつたよ。必ず自分の足は良くなるのだと自信を持つていたからね。

そうだ君も病気が良くなると信じているね。良くなるよ、病気に打勝つて君の大好きなソフトボールのたまも、バットもそうしてグローブも君の帰りをまつている学校へ早く帰つてくれたまえ、がんばれ孝次郎君

（Y1生）

冬休みは社会性を伸ばすチャンス

冬休みはわずか二週間でしかも年末から年始にかけてのあわただしい時期で、子どもたちの生活設計もたてにくい休みです。

そのため、他の休みにくらべボカツと穴をあけそうな時期ですから、お忙しいでしょうが、お子さん方の生活ぶりにも気をつけてください。

一、自分のことは自分でやり、家族の一員として進んで手伝う。

二、お客さまの多い時期なので、礼儀作法などに気をつける。

三、元日から三日までは、思いきつてお正月を楽しむ。

四、学習計画は少なめに、しかし短い時間にみつちりと。

五、火の用心、交通安全、おこづかいの使い方、健康に特に注意をする。

冬の健康

いよいよ冬将軍の到来で寒さもきびしくなつてきました。

寒くなると、子どもたちの健康状態の上に、どのような変化があらわれるでしょうか。

一、かぜをひきやすくなる。

二、ひび、あかぎれ、しもやけのできる子が多くなる。

三、インフルエンザ、ジフテリア、猩紅熱などがはやりやすい。

そこで「せき」や「くしゃみ」を軽視せず、早期発見と早期治療に留意したいものです。

注意事項としては

イ、外出先きから帰宅したら、うがい手洗いをしつかりさせる。

ロ、手足のマッサージをよくさせ、清潔を保たせる。

ハ、すすんで運動をさせる。

ニ、あまり厚着をさせず、清潔な下着をいつも身につけさせるようにしむける。

ホ、部屋の温度、しつ度に気をつける。

ヘ、ガス中毒などのおきないように配慮する。

愛護会の歩み

○八月五日芦原部PTA連合会研集会、会長以下九名参加（北潟青年の家）

○八月九日第四回母親学級、県社会教育主事中山進氏の講演（これからの教育と家庭のしつけ）

○八月十二日廃品回収各部落協力殆ど午前中で終る。廃品売上額一万四千三百十円、野菜、じゃがいも

○八月十八日PTA奉仕作業

○九月三日運営委員会

○九月八日校庭整地

会長副会長、農協車三台

○九月十五日運動会

晴天に恵まれ盛会に終る

○十月二十五日第五回母親学級

○十一月六日母親と女教師の会明道中で小西さん参加

○十一月十四日青少年育成協議会結成式が県民会館で行われ学校長、会長参加

○十一月二十日父親学級開設、宮田外吉先生の講演

○十一月二十四日第六回母親学級、波佐谷先生の講演「子供の理解と子供の躾について」

○十二月二十五日愛護会学校視察、河和田小学校の体育施設、河和田漆器工場見学

○十二月二十五日家庭教育幹部研修会、小西洋子、小西カズイさん参加

○十二月三日中間会計監査

○十二月六日全体委員会

○十二月六日父親学級十五日

親子会については検討してみる。

2.野菜集め、十二月十七日

3.第二回廃品回収

4.新聞発行について

5.展示会について

一月十日より一週間会員の習字、手芸、生花、その他子どもに参考になるもの

6.非行化予防年末年始月間について

7.交通事故防止運動

8.設備後援会の金で卓球台一台購入について

○十二月十五日母親学級

○十二月二十二日教育相談日

○十二月二十四日第二号郷の集い発行

第二学期の歩みを拾つてみました。相変らず皆様の御協力を心から感謝しますと共にこれからもどうぞよろしくお願いします。

詩

三年

入道雲　藤島丈矢

入道雲はぼくをおそうようなかつこうをしていた。

ぼくは、こわかつたがにげなかつた。

雨風　小木正三

風が出てきた。

雨もふつてきた。

雨と風はぼくをとばそうとしている。

ぼくはぜつたいまけないぞとがんばつた。

子どもとテレビ

親たちはテレビの影響を非常に気にしている。確かにテレビの内容は、子どもにいい面ばかりでなく、さまざまな影響を与えている。ことばや行為のまねはその一つである。が、とくに心配しているものに、学業成績がさがるのではなかろうかということがある。このことについて、調査のうえでほとんどで親たちが心配するほど、被害をみることができない。

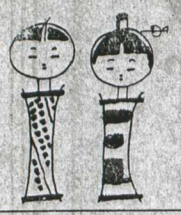
しかし、被害はないといつても、現実にテレビの個々の番組内容を取り上げてみたとき、納得のいかない場合がある。だから、視聴番組を規制したりする。

今の親たちは、テレビのない時代に少年期をすごし、経験しえなかつただけに不安がつきまとうし、番組内容の善悪も、おとなの道徳的見地から判断している。が、子どもたちは、おとなが考えているような受け取りかたはしていないようだ。たとえば、「戦争もの」にしても、子どもたちは殺人行為としてより、単に「かつこがいい」程度に受けとつているようだ。むしろスポーツをみているようにさえ思われる態度である。だからといつて、好んでそうした番組を視聴させることは誤りで、子どもに消化できる健康な番組を見させるにこしたことはない。だが、現実に子どもの希望するものと、親の見せたいものとの間に、いくらか差もあるので、お互いに話し合つて視聴番組の一覧をつくつてみるのもよいであろう。この場合、親の要求を前面に出さないで、彼らの興味を中心にして選んだほうがよい。

長時間視聴することによつて、行動が消極的になつたり、生活の乱れからくる健康が問題になつてくる。

普通テレビをみる時間は、一日二時間くらいといわれているが、もし長時間テレビの前にかじりついていたとしたら、その背景をさぐつてみる必要がある。たとえば友だちがいないためか。いてもうまく遊べないためか。家のものが忙しくて相手にしてくれないのか。ともかく原因を早く探知して、その手当てをしてやることがたいせつである。

（柳原）



思い出

螢の光窓の雪諸先生方の御恩を胸に学校を巣立つて早三十年余り夢の様です。私が歩いた道を我が子が毎日／＼元気よく歩いて居る昔の面影とて無い校舎では有りますが、静かに思い浮べて見ましよう。

雨天体操場入口右側に大きな柳の木。其の下に井戸宿直宰横のポプラ並木と歴史は変るごとく文化も進み其の跡も無い様に外運動場も或る時は学級花壇となり四季の草花を咲かせて心温い想いを起させる新校舎が出来るにつれて又以前の屋外運動場と変つている。

小さな学校作ら昔からの新郷校は校下一丸と成り校長先生を主体として子供の為になみ／＼ならぬ努力が今我が子にそそがれて居ると思えば只御かげ様でと先生に頭が下るばかりです。去つて行く月日は早い。しかし現実に我が子が雨の日も又焼き付ける太陽の下、肌をさす北風に前も見えない様な吹雪の中を一歩／＼大地を踏みつけているではないでしようか。やがて此の子が大人となり又其の子が同じ道を歩むと思えば時代は変り文化は進もうと新郷校が有る限り永久に受継がれて行くのでは無いでしようか。老後の思い出に心温く想い浮べるでしよう。

＜吉江＞

一口知識

牛乳の上手なのみかた

最近の農村にも世の進歩と共に食改善の一歩として非常に牛乳を飯まれる方が多くなりました。そこで一筆ある雑誌より知つた事を紹介しましよう。

牛乳は私達が栄養の中で一番不足しやすいカルシユウムの含有量が多い食品です。牛乳は温かいものをビスケツトやクラツカーをつまみながらストローでゆつくり飲むのがもつとも消化しやすい飲み方です。温めるの時は煮えたぎらせては、ビタミンがこわれるのでいけません。何もそそぎに飲む場合は、がぶ飲みはさけゆつくり噛むように飲むと唾液の混ざり方が多く胃の中に入つても良く消化されます。ガブ飲みをされると胃の中で胃液の酸とあつて牛乳の蛋白と脂肪は大きなかたまりとなつて不消化物をつくり胃腸の弱つているときは下痢をしたり異常発酵をおこす原因となります

温かい牛乳に砂糖をいれて飲む方がありますが、これではせつかくの牛乳の栄養価値をこわすも同様です。なぜならば牛乳のカルシウムは砂糖と一しよに身体のなかで分解するさい砂糖のつくる酸を中和するために使われてしまつてカルシユウム本来の働きができなくなるからです。

以上非常にありふれたことですがなかなか出来ないことです。

YI

反省

学校で道徳教育が叫ばれている此の頃、果して其の成果が上つているでしようか。私達が美徳と思つている事が、今日の社会に定義付けられる美徳として通用しているでしようか。疑問の多いところであります。

殊に子供の自由人権が尊重される今日、又経済の波にもまれる生活事情下に於て親として真実に子供の教育に物心両面に於てどれだけ貢献しているでしようか。おそらく意志はあつてもどうすればよいか迷つていて手をつくねているのではないでしようか。かといつて、放つておいては大変です。次の世代を担う国民の育成に重大な関心をはらうべきです。

子供には大人の殊に親の日常の振舞を、見様見真似ねしている内にこれが先入観念となつて、頂度私達が先入観念に押され因まり苦しんでいるような轍を再び踏ましてはならないと思います。

親として最も反省すべき事項の一つであると思いますとき、我国の民主主義下の教育の毎日に、勇気を持つて当たり、大いに研究し自信のある責任のある明るい家庭生活を打ち立てるべきだと私は考えます。

北本堂　小西清子

子どもの作文

幼稚園の思い出

五年　篠崎裕子

私は余りようち園のころは、覚えてはいないが、私が家に帰つて、

「帰りました。」

と、言つても

「おかえりなさい。」

と、だれも返事をしてくれないので、さびしかつた。

私の所では、お母さんはどこかの工場へ働きにいつていたし、ねえちやんは、春江の工場へつとめにいつていたし、祖母は、目くらで余り耳も聞こえないので、私が帰つてもわからない。

そして、私の所では余りかまつてくれないので「自分のことは自分でする。」と、いうのはとてもよかつた。

また、「仕事をなしとげる」も、私の習慣になつた。

それに私は、ようち園の時は余り元気もなかつた。そして自分から進んで遊ぼうとしなかつたけれど、今では自分から進んで遊んで元気よくなつた。

私は時々、（自分の家にお父さんがいたらなあ。）と思う時もある。お父さんは、私が一つか二つの時に馬の下じきになつて死んでしまつたので、私は、お父さんの顔は知らない。お父さんが今生きていれば、私ももつと元気だつたかもしれない。

ようち園の時は、身長も低かつたし体重も軽かつたのに、今は身長も高くなつたし、体重も重くなつた。こんなにちがうので不しぎに思うくらいだ。

一番思い出にあるのは、お母さんと二人で、お母さんの里へ帰つた時だ。でも余りはつきりは覚えてはいないが、お母さんと二人だけで汽車に乗つて、お母さんに何か買つてもらつた、そんな時が一番うれしかつた。

そして、私は物を作るのも余りうまくない。それで私は、（どうしてかなあ。）と思つて、ねえちやんたちの通知表を見ると、どれも工作が全然だめなので、（私もねえちやん達と同じだなあ。）と思つた。

前に書いてあつたとおりに、本当に私の家にお父さんがいたら、家も楽しくなるし、おばあちやんに聞いたら

「お父さんは、料理がうまかつた。」

と、言つたのでお父さんがいれば、おいしい料理が食べられるので、本当にお父さんがいたらなあと思う。

そして、家族全部みんないて、楽しく夕ごはんを食べて、ちよつとなんかあつた時は、家族会議をする。そんな家族だつたらいいのにと、ゆめにまで思う。

牛

三年　大森健治

ぼくのうちには牛が六ひきいます。毎日こやにはいると牛が大きい口をもぐもぐさせています。

ぼくはよくいもづるで牛のはなをこそばしたり、しつぽをひつぱつたりすることがあります。そうすると牛は「モーモー。」となきます。

おじいさんはいつもばんにちちをしぼります。牛があばれて、きかいのちちをさしこむところからちちがとれてしまうことがありました。ぼくは、あんまりあばれるので、しつぽをひつぱつたら、おじいさんが、牛にけられてしまいました。おじいさんは、なれているのでいたくないのです。またちちをしぼりはじめます。「まだおわらんのか。」ときくと

「まだや」といいます。

しばらくしてきかいでしぼるのがおわると、こんどは手でしぼります。おじいさんが手でちちをひつぱると

「チユウ　チユウ」

という音がして、かんかんにたまります。ちちしぼりがおわると、牛にえさをやつて、ばんの仕事がおわりになります。

あとがき

前号のとき、次回の「郷の集い」をこれに倍してすばらしいものをと書いたものの、なか／＼、実のあるものが出来ませんでした。しかし年末年始の冬休みのすごし方、交通事故防止にちなんだものをのせて、おきましたが、毎日の新聞紙上をつめているものを人ごとのよう考えないで、子ども達をしつかり見守つて、いきましよう。

＜柳原＞

おとなはかつてだ

四年　TM

かあさんが
これすんだら、まちへ行こう
うれしくなつて
早く勉強をすませた
早くいこう
かあさんは
つかれたつかれた
どつかいくのはやめよう
こんどにしよう
いつものやまいが
でてきたようだ
おとなはうそつき
おとなはかつてだ

坂井郡小学校陸上競技ベスト六決まる

今学期どの町でも小学校連合体育大会を開き、その成績を集計して、ベスト六校で次の児童が選ばれた。

四年百米　二位　小西恵子
〃　四位　篠崎美恵子
五年二百米　二位　青木武司
五年千米　五位　小木隆男
五年百米　六位　大森良子
六年二百米　一位　白崎順子
走高跳　五位　〃